



様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

平成23年7月10日

大分県知事 広瀬 勝貞 殿

提出者

住所

福岡市中央区那の津5丁目2番24号

氏名(株)北九州ジェイエイ畜産

代表者名

日高 第五郎

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号

092-438-2002

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	北九州ジェイエイ畜産 竹田繁殖豚実験農場
事業場の所在地	竹田市大字太田2549
計画期間	平成23年4月1日～平成24年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	01 農業
②事業の規模	(牛 頭) (豚 2,200 頭) (鶏 羽)
③従業員数	6 人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	家畜ふん尿 - 自分で堆肥化 家畜の死体 - 処理業者へ委託処理

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

場長(廃棄物統括責任者)

- ・廃棄物処理方針の決定
- ・廃棄物処理に関する各種事項の決定

・産業廃棄物管理票の交付

本社事務員(廃棄物実務担当者)

- ・委託契約の締結事務
- ・産業廃棄物管理票の管理
- ・行政等への各種報告

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

	【前年度( 22 年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	家畜ふん尿	動物の死体
①現状	排出量	2,659 t	4.2 t
	(これまでに実施した取組)		
	該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	家畜ふん尿	動物の死体
	排出量	2,500 t	4 t
	(今後実施する予定の取組)		
	該当なし		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 該当なし
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 該当なし

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（ 22 年度）実績】			
①現状	産業廃棄物の種類	家畜ふん尿	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	2,659 t	t
	(これまでに実施した取組)		
	堆肥化		
【目標】			
②計画	産業廃棄物の種類	家畜ふん尿	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	2,500 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	堆肥化		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（ 22 年度）実績】			
①現状	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
該当なし			
【目標】			
②計画	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
該当なし			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 22 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量 (これまでに実施した取組)	t
	該当なし	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量 (今後実施する予定の取組)	t
	該当なし	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 22 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	豚の死体
	全処理委託量	4.2 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t
	再生利用業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
	(これまでに実施した取組)	・豚の死体は処理業者へ委託処理

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	豚の死体	
	全処理委託量	4 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
・豚の死体は処理業者へ委託処理。			
※事務処理欄			